

2023年版

基幹システム統合ツールを利用していない 大企業の3社に1社が基幹システムの統合を検討

～半数近くが「MAやCRMなどのDXツールと連携できる、
操作性に優れたCMSツール」に興味あり～

大企業の基幹システムに関する実態調査
株式会社サイト・パブリス

調査概要

調査実施者

株式会社サイト・パブリス

調査概要

大企業の基幹システムに関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画による
インターネット調査

調査期間

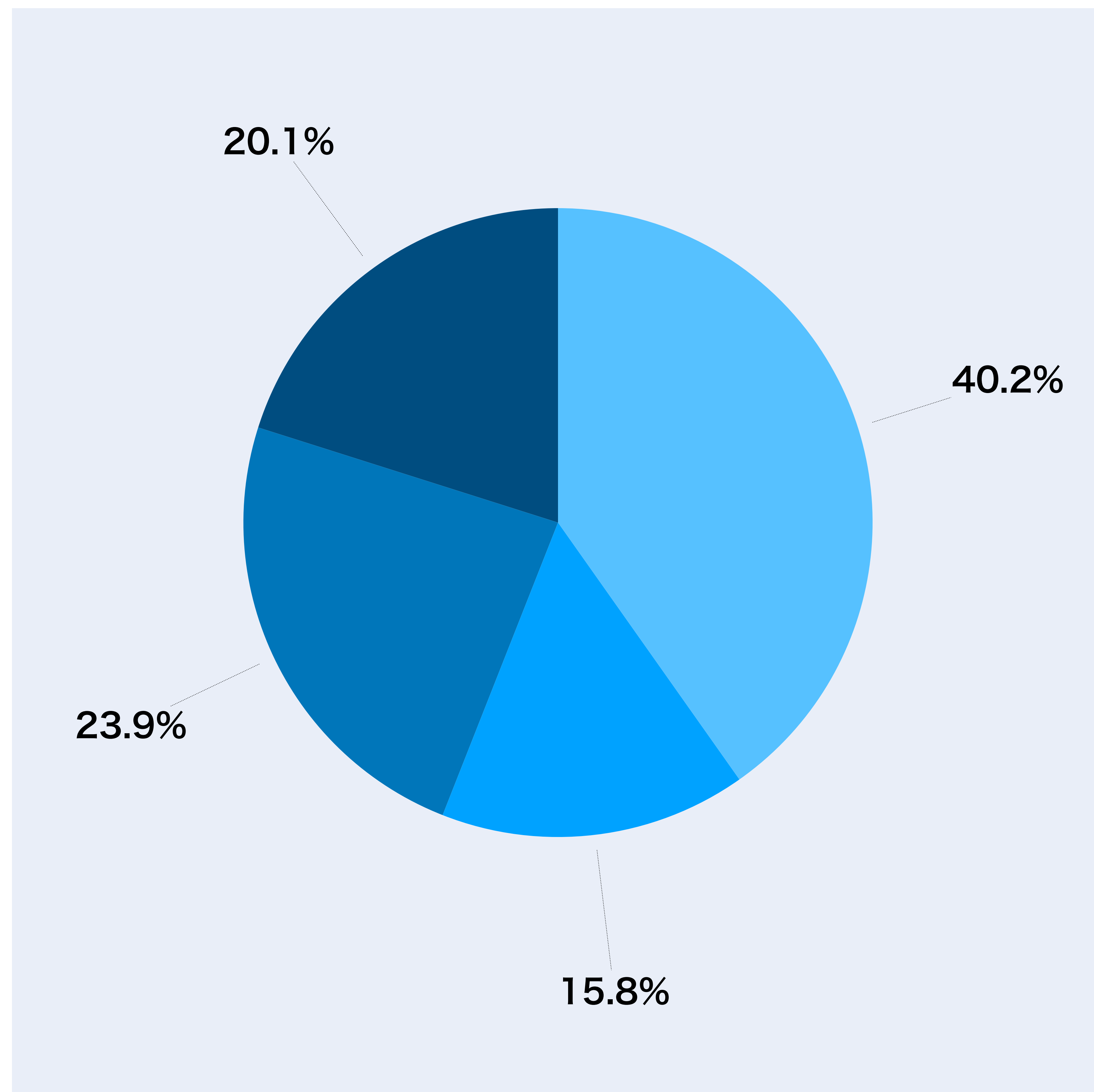
2023年6月2日～同年6月9日

有効回答

大企業（従業員数1,000名以上）の情報システム184名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

Q1 あなたの会社では、基幹システムをクラウドで利用していますか。

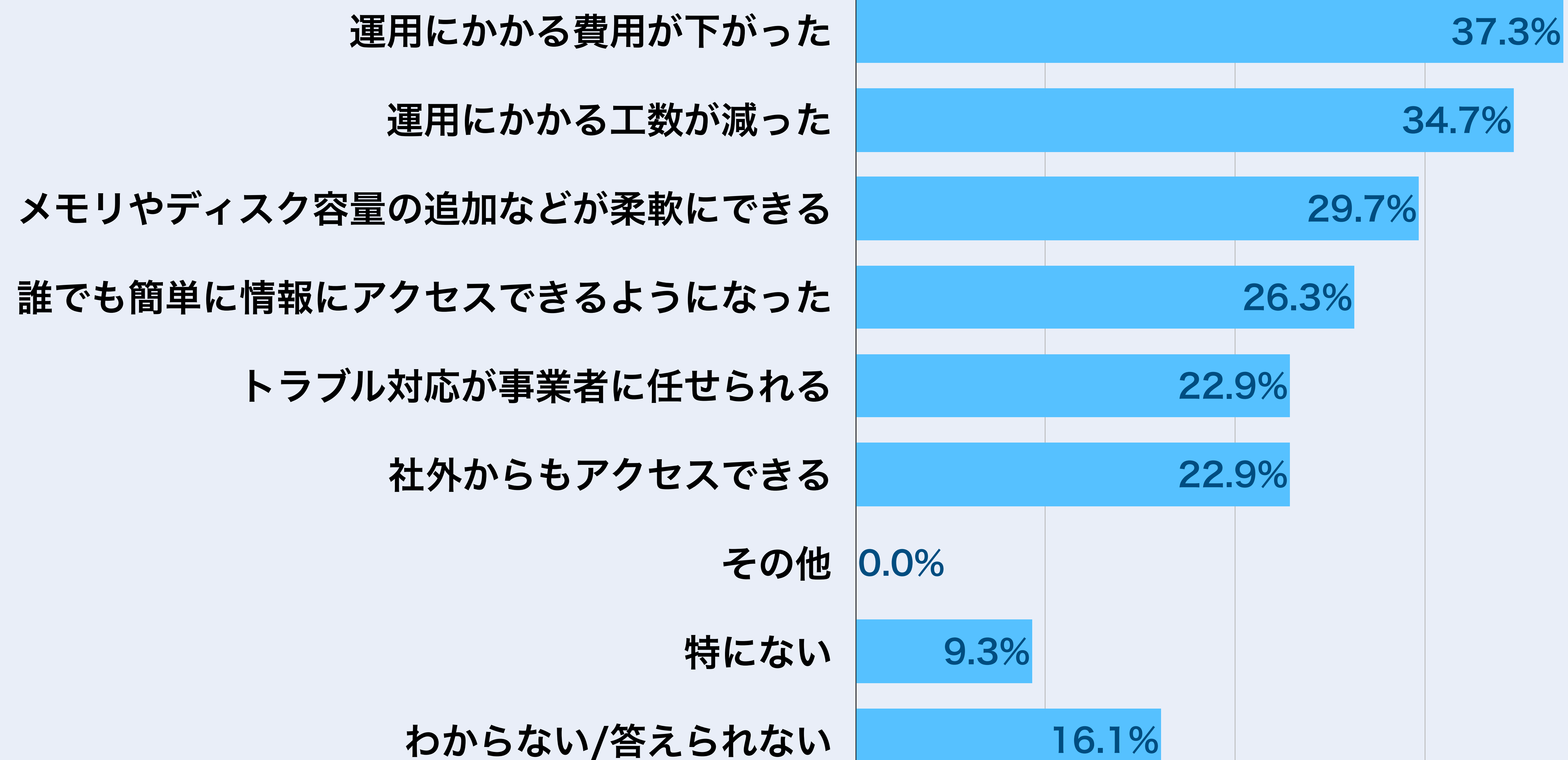


- 40.2% はい
- 15.8% いいえ
- 23.9% クラウドとオンプレミスを併用している
- 20.1% わからない/答えられない

約6割の情シス担当者が、
基幹システムをクラウドを利用して
いることが分かりました。

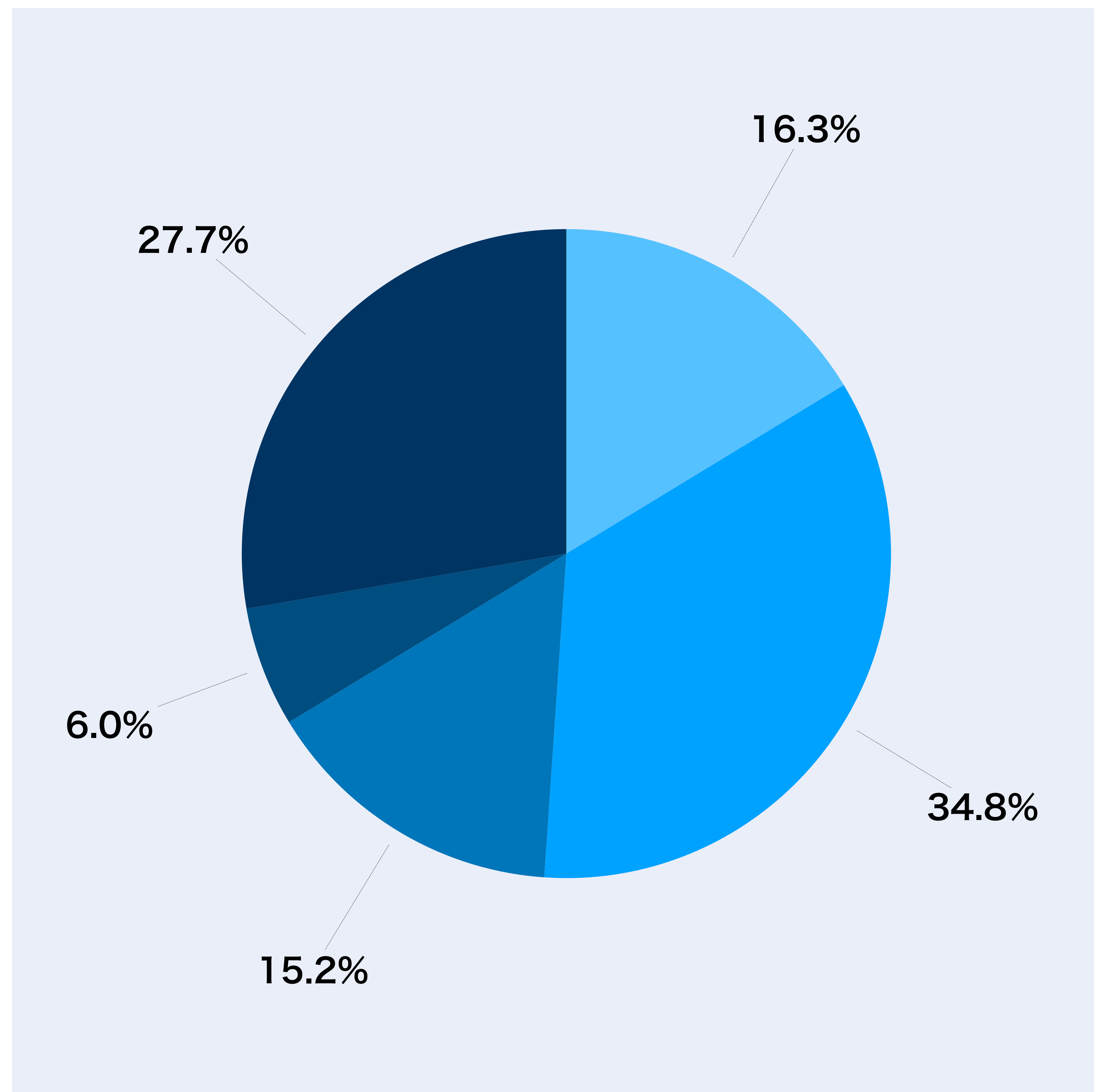
Q2

Q1で「はい」「クラウドとオンプレミスを併用している」と回答した方にお聞きします。クラウドに移行して良かったことを教えてください。（複数回答）



クラウドに移行して良かったこととして、約4割が「運用にかかる費用が下がった」と回答しました。

Q3 基幹システムを運用する上で課題を感じることがありますか。

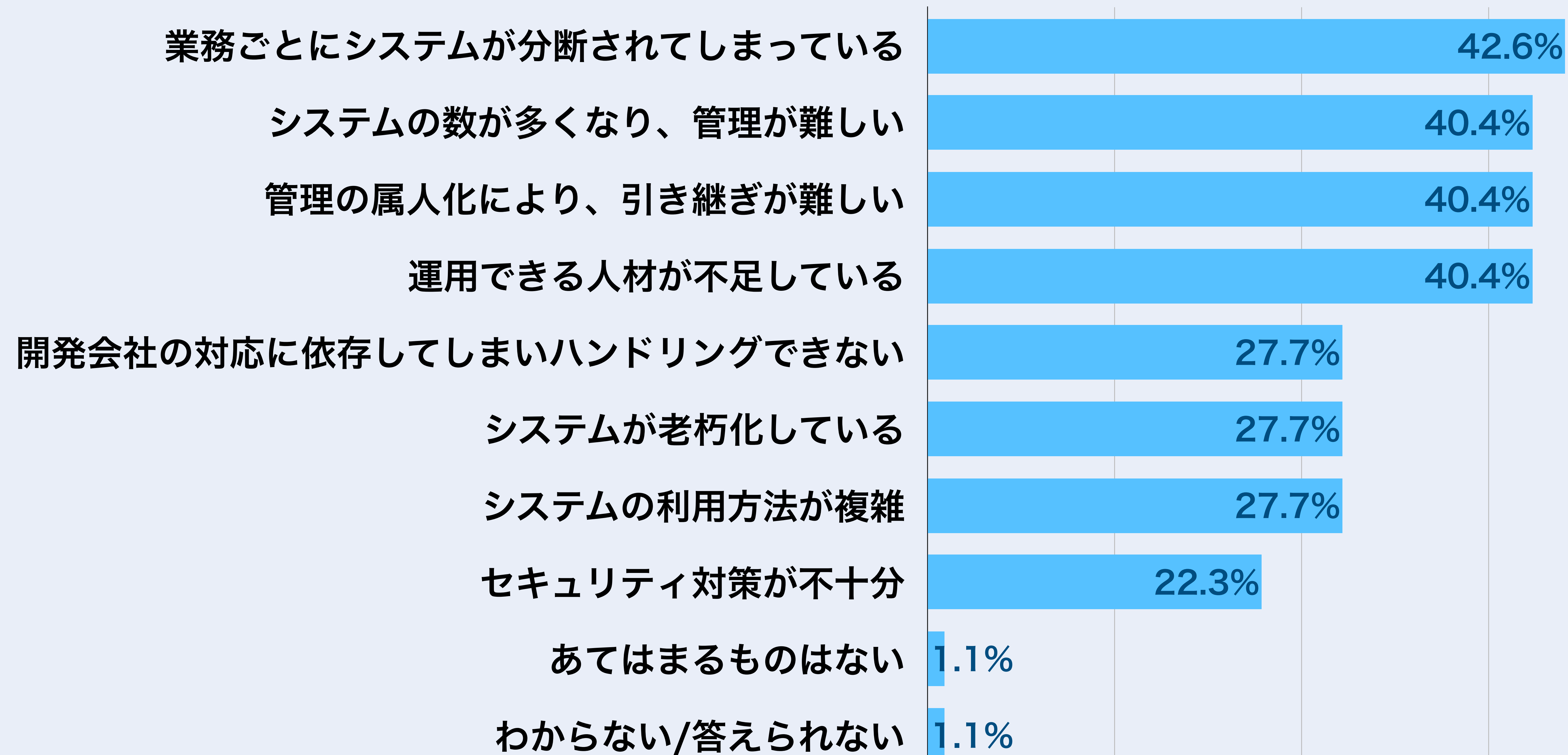


- 16.3% 非常にある
- 34.8% ややある
- 15.2% あまりない
- 6.0% 全くない
- 27.7% わからない/答えられない

約半数が、基幹システムを運用する上での課題を実感していることが分かりました。

Q4

Q3で「非常にある」「ややある」と回答した方にお聞きします。
基幹システムを運用する上での課題を教えてください。（複数回答）



基幹システムを運用する上での課題、
「業務ごとのシステムが分断されてしまっ
ている」が42.6%で最多となりました。

Q5

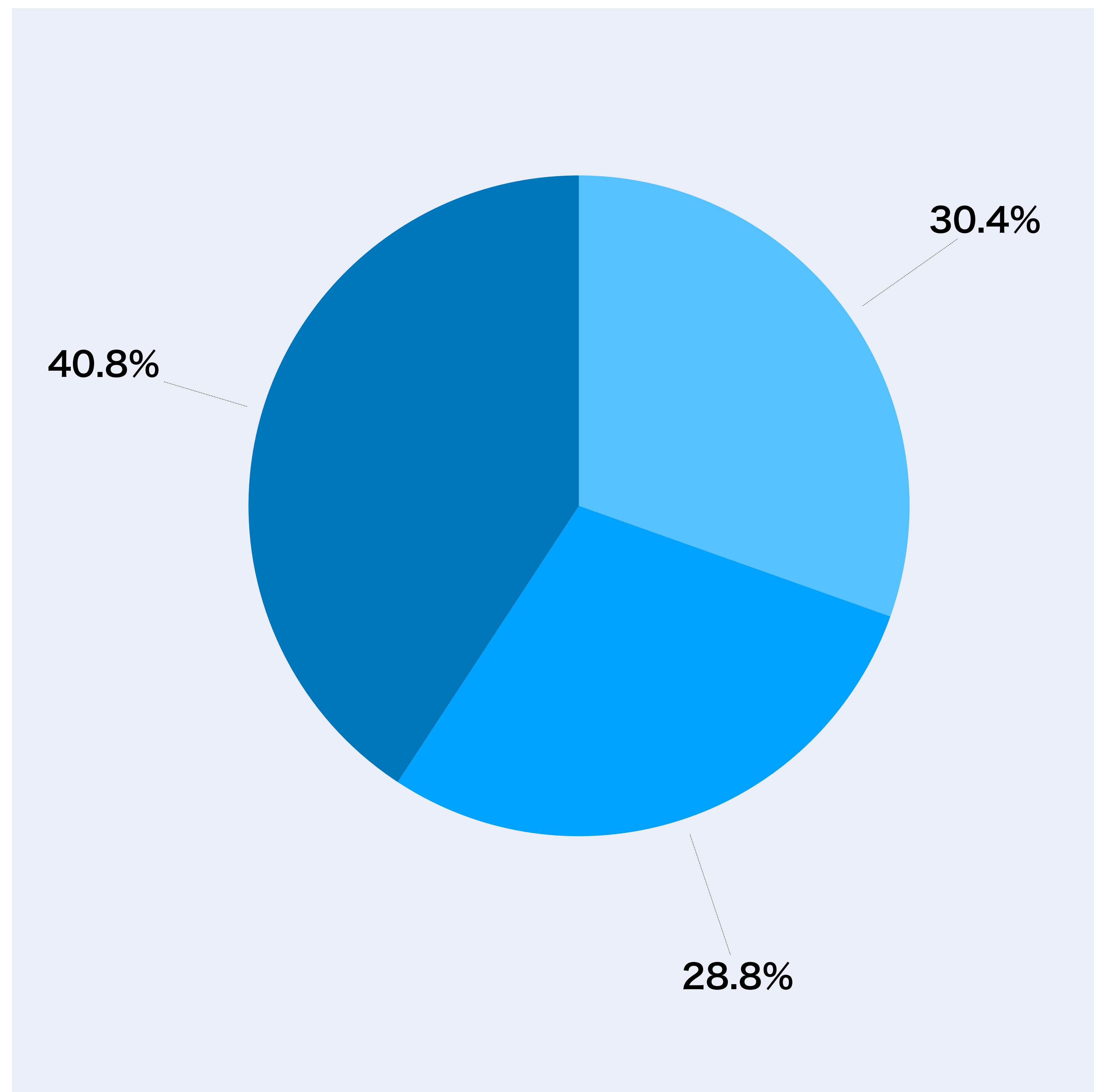
Q4で「あてはまるものはない」「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。Q4で回答した以外に、基幹システムを運用する上での課題があれば、自由に教えてください。（自由回答）

＜自由回答・一部抜粋＞

- ・ 49歳：有識者が少ない。
- ・ 50歳：運用コストが高い。
- ・ 60歳：カスタマイズがしづらい。
- ・ 56歳：システムが不安定な時がある。
- ・ 47歳：システムリソースの増強が難しい。
- ・ 56歳：セキュリティの懸念。
- ・ 61歳：フレキシブルな対応は難しい。

基幹システムを運用する上での課題、「有識者が少ない」や「運用コストが高い」などの声が寄せられました。

Q6 あなたの会社では、基幹システムを統合するツールを利用していますか。

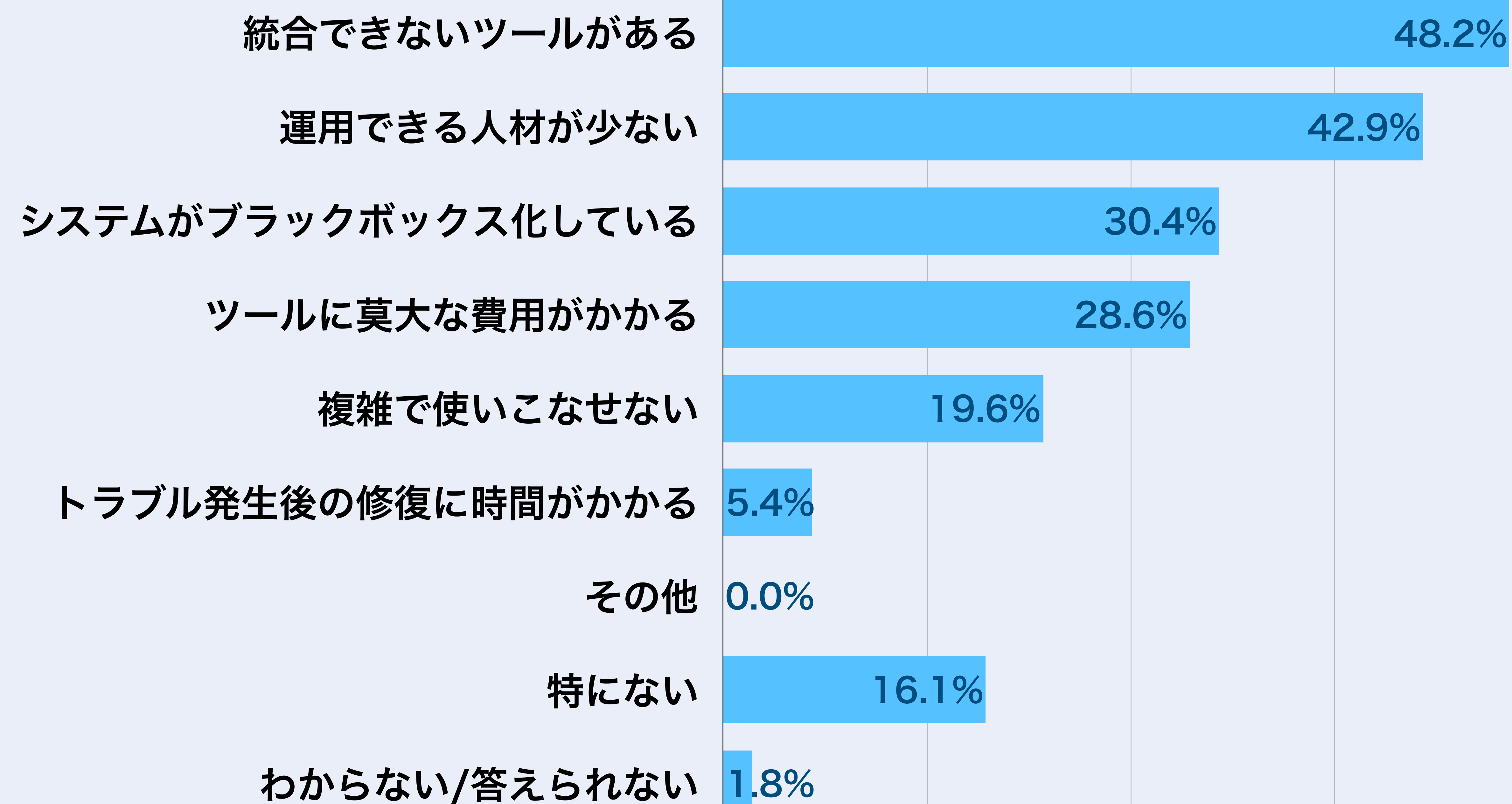


- 30.4% 利用している
- 28.8% 利用していない
- 40.8% わからない/答えられない

3割以上の大企業が、
基幹システムを統合するツールを
利用していることが分かりました。

Q7

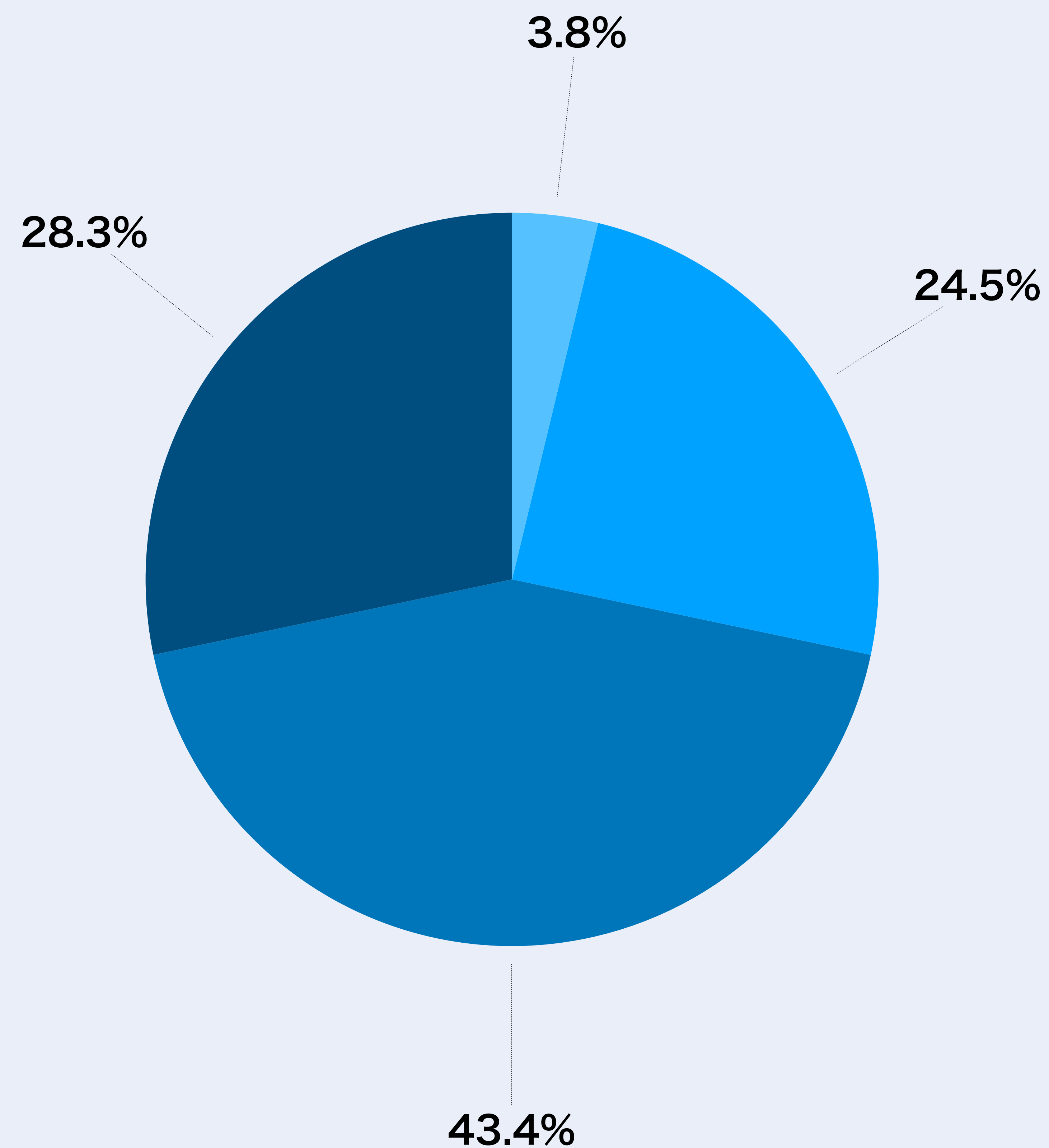
Q6で「利用している」と回答した方にお聞きします。
基幹システム統合ツールを運用する上での課題を教えてください。（複数回答）



基幹システム統合ツールを運用する上での課題、「統合できないツールがある」が48.2%で最多となりました。

Q8

Q6で「利用していない」と回答した方にお聞きします。
基幹システムの統合を検討していますか。



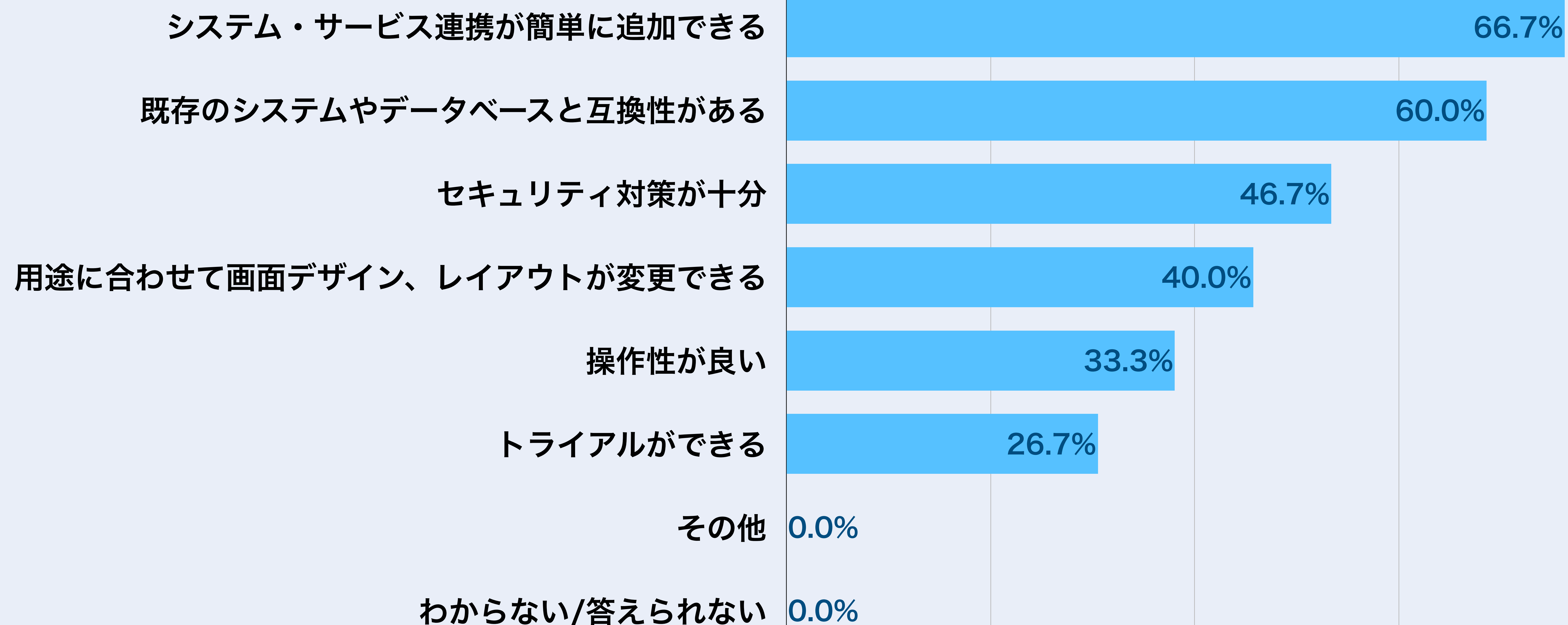
- 3.8% 具体的に検討している
- 24.5% 検討しているがまだ何もしていない
- 43.4% 検討していない
- 28.3% わからない/答えられない

約3人に1人が、基幹システムの
統合を検討していることが分かり
ました。

Q9

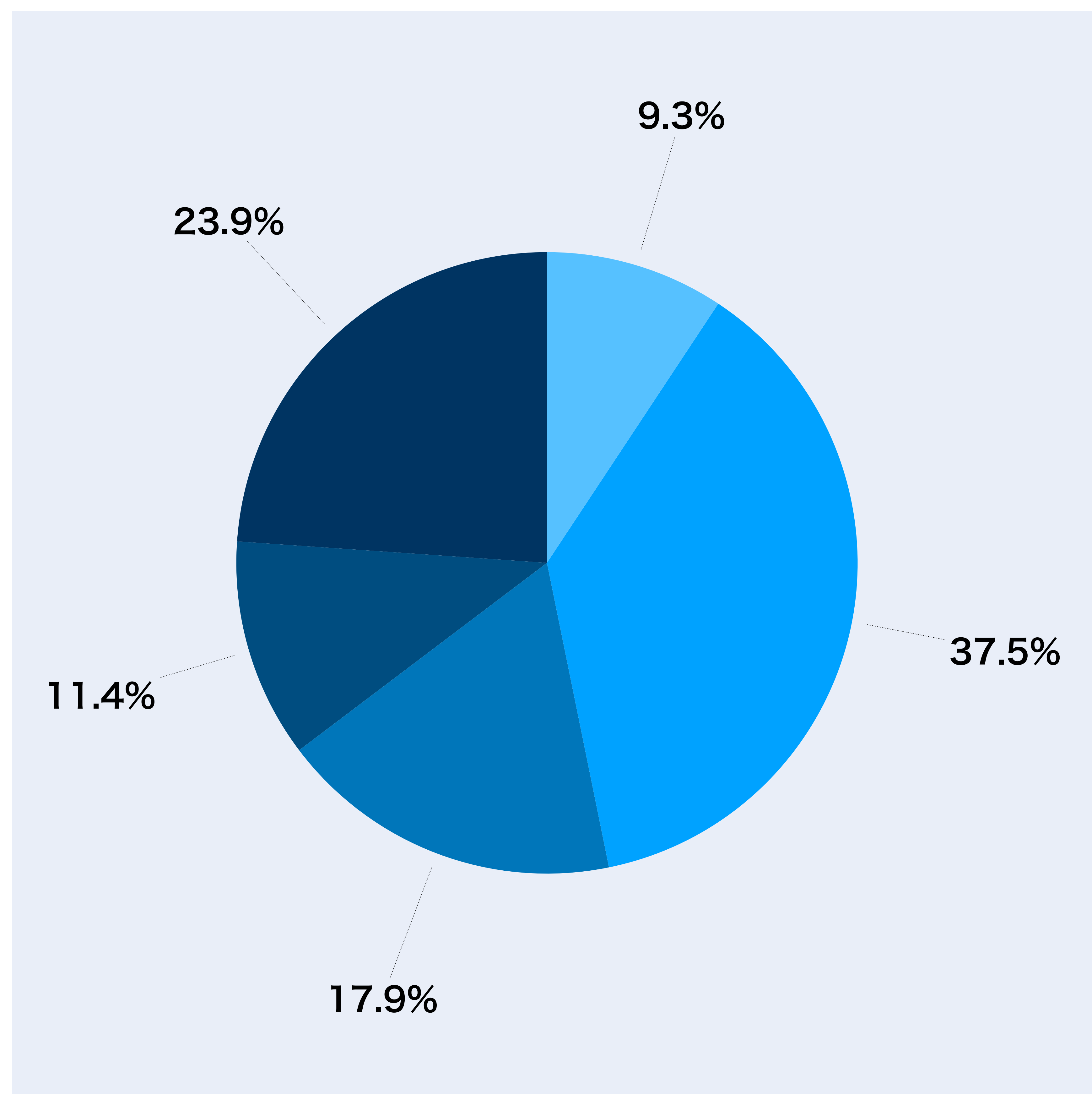
Q8で「具体的に検討している」「検討しているがまだ何もしていない」と回答した方にお聞きします。

基幹システム統合ツールの利用に関して、重視したい点がありますか。（複数回答）



基幹システム統合ツールの利用に関して重視したい点、「システム・サービス連携が簡単に追加できるか」が66.7%で最多となりました。

Q10 MAやCRMなどのDXツールと連携できる、操作性に優れたCMSツールに興味ありますか。



- 9.3% 非常に興味がある
- 37.5% やや興味がある
- 17.9% あまり興味がない
- 11.4% 全く興味がない
- 23.9% わからない/答えられない

約半数が、操作性に優れたCMSツールに興味を持っていることが分かりました。

「SITE PUBLIS Connect」の特徴

つながる、伝える、進化する

SITE PUBLIS Connect

・外部サービスや外部システムとの連携による情報の一括管理

- さまざまな外部サービスやシステムと自由に連携

外部に公開しているWebサービスだけでなく、企業が保有している顧客データベースや商品データベース、ECパッケージなどの基幹システムと連携できます。柔軟な連携により、既存のCRMやMAツールなどの情報を無駄にせず、活用し続けることができます。

- ヘッドレスCMSでメディアへの配信業務の負担軽減

都度データを取りまとめる時間や手間をかけることなく、Webサイトやスマートフォンアプリ、デジタルサイネージ、スマートスピーカーなど複数メディアへのコンテンツ配信が一元管理できます。膨大なデータを管理し、タイムリーな配信を必要とする流通業界のほか、代理店を多数抱え、メディアによって情報の出し分けが必要な企業などでの活用が期待できます。また、配信コンテンツの一括管理により情報に一貫性を持たせることができ、業界を問わずすべての企業のコーポレートサイトに活用できます。

▼公式ホームページ

<https://publis-connect.jp/>

お問い合わせ

企業名

株式会社サイト・パブリス

TEL

03-6812-7152

MAIL

press@sitepublis.co.jp

WEB

<https://www.sitepublis.net/>

会社住所

〒102-0074

東京都千代田区九段南一丁目4番5号

泉九段ビル4階